

ALUMNI ASSOCIATION OF U-AIZU. 会津大学同窓会 会報誌 第7号

◆ データでみる会津大学
倍率回復は落ち着く、
大震災の今後が課題か

◆ 巻頭特集 座談会2011
「地元企業が
会津大学に期待すること」
第1回“農商工観学フェア”から
見えてきた課題と未来

目次

巻頭特集 座談会 …… P3~6

大学の近況 …… P7, 8

データで見る会津大学… P9

同窓会事業報告 …… P10

決算予算報告 …… P11

同窓会からのお願い …… P12

夢の実現の一翼を担いつつ、商売に繋げていければいい。——真壁

上野 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。今回は“本学と企業の産学協同による会津地域における効果、そこにある未来について”のディスカッションをしていきたいと思ひます。まず自己紹介を学生から。『あいづ農商工観学フェア』にて受賞された方に参加いただいています。

佐藤 北会津生まれの17期生で、現在2年です。企画したのは“絵ハガキの旅 in AIZU”というもので、会津の観光地を探し、そこで撮った写真が絵はがきになって届く、という事業です。

谷川 私も17期生です。今回、会津の名産品である味噌とそばを使った“あかべえも大好き!会津ながらの『みそば饅頭』”を提案しました。

上野 佐藤さんは優秀賞、谷川さんは最

佐藤 中小企業同友会の会長を仰せつかり丸2年になります。会津に短大しかなかった時代から、4年制の切望が市民には強かったのですが、理系とまでは想像していなかった。当時の知事が「会津にはIT関係だろう」というご意見で開学したものです。会津大学は100年来の念願ともいえる熱望をもって迎えられたということ、まずご理解いただきたい。

会津は大型小売店が次々と撤退し、大企業も縮小する今の経済状況だからこそ、産学のこの企画が誕生したのだと思ひます。同友会会員200名がそこに力を結集すれば何か生まれるのではないかと、という大きな期待を持っています。

真壁 私は塩川の出身で、宇都宮の高校を出たあと会津に戻って造り酒屋に20年近く勤めた元サラリーマンです。独立して今年9年目ですが、4つ会社を経営し、900名

会のメンバーのひとりではなからうかと思ひます(笑)。

産学イノベーションセンターではおもに、産学連携による新産業の創出、産業人材の育成ということで、“ITH新館”というプロジェクトを通し、人材育成に携わっています。今回、学生の皆さんには「会津にこんなビジネスがあったらいいな」というテーマで同友会さんと一緒に企画から活動させていただいてきました。

上野 最後に私ですが、本学同窓会会長をやっております。大学の一期生で、当時は校庭もなければUBICもありませんでした。あったのは研究棟だけ。一番の楽しみは体育の時間で短大に行けること。女子に会えるからと思ひました(笑)。でも校舎の外に誰もいなくてダメダメでした。(一同笑い)

卒業はなぜか8年もかかってしまったのですが、言い訳とすればその間に会社を作っております。『株式会社シンク』というコンピュータソフト開発会社をやっております。友人、社員とともにソフトウェア業界発展と地域貢献に努めてきました。

今回は、本学生が、地元で「こんなのがあったらいいな」という思ひが詰まった“農商工観学フェア”を通して今後を語り合おうという企画です。

改めて提案した学生にお聞きしたいのですが、さきほどの佐藤会長の会津大学建学への熱い思ひ、あるいは地域が非常に厳しい経済状況でなければこの取り組みもなかったと率直に語られましたが、自身の企画のポイントや商品化されることへの期待などを聞かせてください。

佐藤 会津にメディアではあまり取り上げられる機会がなく、どうにかしてアピールできないかと考えました。携帯電話を操作していた時、カメラを使って会津の美しい風景を絵はがきにし、それをメールで贈り物にできるんじゃないかと発想をつなげ、企画しました。

上野 会津の美しい風景を届けたい、という純粋な思ひから生まれた企画ですね。では谷川さんはいかがでしょう。

谷川 私は生まれも育ちも会津若松なん



ですが、地元の良さをほかの地域の人に知ってもらうためには、どのようなものが受け入れられるかを考えて企画しました。会津でも一番の名産品だと思ひたのが味噌とそば。これらを材料にした饅頭を考え、名前も親しみやすいよう『みそば饅頭』と名付けました。

上野 お料理は得意なんですか？

谷川 多少は作ります(笑)。

上野 純粋な動機で発想されたものですが、純粋ゆえにまだまだ整えなくてはならないことは多いと思ひます。経済界から、そういった視点から学生に求めたいこととありますか？

佐藤 実は先ほどお話しした中には、もうひとつ隠れたテーマがあったんです。会津全体の見通しを単年度では考えていない。事業は必ず5年、10年先を見据えながら考えていくものですが、今の経済指数からいってこれからの会津はどうなるのか、また、後継者を地元でどのように残していけるかをそれぞれ考えています。経済界というのは学校に行って単位をとって終わるものではなく、ヒト・モノ・カネがつかまとい、それを継続させていかなくてはならないもの。そこへ情報が加わるのですが、以前、『みずほ総研』系列研究員の方にお願ひして、公開例会をやってもらいました。

その時、実際にこの先会津の人口がど

うなっていくのかを調べてもらったのですが、福島県の人口が209万を割っており、20年先には170万台を切ってしまうという評価。なかでも人口の落ち込みが激しいのはいわきと会津なんですよ。さらに、東北六県のなかで自治体内の高齢化トップテンに会津地方が4つ入っている。檜枝岐、三島、金山、昭和。働き場がない、あるのは役場くらいで子供はみな外に行ってしまう。

そこで地元で働く場をつくらうという試み、それは真壁さんも旗振り役だと思ひますが、既存の事業ではない新ビジネスの提供が求められるわけです。会津大学生も地元出身の方は1割にも満たない、いわゆる若者・よそ者。そこで我々はばかものになって産学で新しいビジネスモデルをつくり、地域を活性化させていこうという試みでもあるのです。

年間所得第一位、誇らしく思わない会津人はいない。——佐藤(脩)

我々が学生の頃は企業に利用されるような風潮を厭がったものですが、今や各県に産業のキーとなる大学がそれぞれ特色を出しながら研究をしている。余談ですが会津大学は学生の年間所得額が800万を超え第1位という記事が『プレジデント』に出て、東大という最高学府を遙かに上回ったことで一躍有名になりました。あれを見て誇らしく思わない会津人はいなかった。

ただ、残念なことに会津大学は『イトカワ』などの高い技術をお持ちですが、地場にそれだけのものがフィードバックされてい

るのか疑問視されている。だからこそ経済・産業の側がアプローチして、若い発想をぶつけてもらいたいと思ひたのです。

大学が出来る頃までは会津も可処分所得が大きかったのにどんどん下がってきている。皆さんの働く場を、高所得になりうる他地区に売り込めるものにしていかなくてはならない。営々と会津若松が続いていくために、会津大学を卒業した方が地元で根をおろし、孫子の代まで会津を愛してほしいと切に願ひます。

上野 うれしいですね、期待されているわけですから。私も創業のきっかけはそうでした。地域経済界の方々も期待してくださる、そんなありがたいことは社会には滅多にないです。厳しい経済状況での地元へのフィードバック、なかには大変高度な

技術もありますが、一緒にやっていきたいという思ひは強く胸に響きました。

高橋くん、起業してみても実際は「そう上手くはないよ」ということもあったかと思ひますが、先輩としてたまごたちに。

高橋 起業する上で学生時代に学んでおけば良かったと思ひすることは、専門のITや英語はともかく、“経済”の学びです。

また、地域に対してIT技術がどう有効であるかを考えること。たとえばスマホのカメラも、弊社は絵ろうそくまつりで写真を

巻頭 座談会 2011 特集

「地元企業が会津大学に期待すること」

第1回“農商工観学フェア”から見えてきた課題と未来

優秀賞をいただきましたね。おめでとうございます。

佐藤・谷川 ありがとうございます。

高橋 私は9期生で3年ですが、『サークラッツ』という会社を立ち上げております。“蔵とねっ”という情報サイトを運営しながら、スマホのアプリ開発などをやっております。

上野 会津大学発のベンチャーですね。起業されて何年になりますか？

高橋 まだ2年目です。現在の事業を通して、会津を全国に広くアピールしていきたいと思ひています。

上野 では、経済界から。

の従業員がいます。

会津大学は優秀な学生揃いですが、起業に必要なのは経営者としての魂、発想、決断が大切だと思ひています。学生の皆さんに出してもらったのは、その“発想”です。いかにユーザー(お客様)が必要としているものを日常の中から汲み出していかれるかが起業のヒントであり、成功しているのがiPhone、iPadなのだと思います。

「こんなのがあったらいいな」という夢は、あなたがたのような優秀な人材が実現しているというのが今の世で、私はそれを応援することで一翼を担い、あるいは商売に繋げていければいいと思ひています。

甘泉 UBICの教員になってちょうど4年になります。その前まではこの大学院で博士後期課程を修了しましたので、私も同窓



さとう しゅういち
佐藤 脩一

福島県中小企業家同友会会津地区会長
株式会社会津電気工事 代表取締役
あいづ農商工観学フェア主管団体会長

撮ると特化したキャラと写るアプリを開発したのですが、写真の提供方法がQRコードの利用では受け手側が難しいということで、プリントして渡すというアナログなアウトプットになった。大学と地域でデジタル格差が大きいことも互いの念頭に置かなくてはならないと痛感しました。

上野 やんわりとですけど、地域でIT企業を使いこなすにはITにもっと慣れたほうがいいと。

高橋 というより、こちら側が専門的に評価の高いアプリを作っても地域に受け入れ

“人に尽くす”なんて、学校では教えてくれない。——上野

られないものでは、まちおこしのためのツールとしてはいけないと思いました。こういった情報系のもは物産品のような主役ではなく、販促のためのサポートの一つであればいいんじゃないか。絵ろうそくまつりでも、絵ろうそくを買ってくださった方へのサービスとしてプリントした写真を差し上げましたが、すごく喜ばれました。

上野 なるほど。では、起業から短い期間で900名の雇用になるまでに成功された、真鍋さんからもお話をうかがいたいです。たまごたちが孵化して真鍋さんのようになるには？

真鍋 そんな偉そうに言えることはないのですが(笑)。

自分の感覚で話しますが、会津は200年前、日本一の教育のまちだった。冷害で米がとれず、人がばたばた死んでいくなかで会津藩は何を施策したかという教育です。教育こそ経済の最大の発展につながると作ったのが『会津藩校日新館』。司馬遼太郎先生に、今でなら東大よりすごいと言わしめた学校がかつて会津にあった。

10歳から35歳までの人々が基本の読み書きそろばんを地元の経済人に学んだという記録も残っている。儒教の教え、つまり礼儀、目上へ礼を尽くし、人に尽くすという考え方を徹底的に教えたのが日新館です。

私はみなさんのように頭がいいわけではないけど、〈人に尽くそう〉〈人に喜んでもらう〉という意識は遙かに強いと自負しています。ちょっとした善行で人に喜ばれるのがうれしい、という気持ちのある人が社員を養えると私は思っています。

時に厳しく、あるいは温情をかけることで社員のモチベーションを高める。さきほど佐藤会長も「若者・よそ者・ばかものが時代を変える」とおっしゃりましたが、私もそう思います。

30代後半で起業した当時、私も若松の「よそも」で「若者」でした。叩かれても、自分の信じた(人のためになること)を一生懸命やりました。派遣業もカメラの製造請負、観光施設や焼肉屋、もつ鍋屋も経営しています。もちろん必死ですが、冬場1千万くらいの赤字になる飯盛山の観光施設も、お客さんに喜ばれるならと思えば365日営業します。それは金儲けというよりは人に尽くすと

いう姿勢。そこに良い風、チャンスは訪れる。人が関わってくことで仲間につながり、チャンスも与えられます。あとは、みなさんの方が我々より遙かに頭脳があるので成功するはず。がんばってください。

上野 ありがとうございます。うん、“人に尽くす”なんて学校では教えてくれないよね。ほんと深い。

真鍋 先ほどの会長のお話とも繋がるんですが、たとえばイベントの実施。目先の商売だけ考えていけばそんなことはやらないでいい。でも、真剣に自分の商売を考えた時そこに生まれるビジネスチャンスや新しい発想というのは、学生時代の勉学に対する評価とは違う。社会人は評価しあいがらそこから学ぶんです。ぶつかりあうことが経済の発展かなとも思います。

佐藤 ちなみに同友会というのは3つの目的があり、良い会社をつくりましょう、良い経営者になりましょう、良い経済環境をつくりましょうというのが骨子です。

しかし、これだけ経済が悪化してくると人口減が大きな影響を与えてきます。地盤がゆるんだところに良い会社をつくっても成り立たない。その例がサティや中合。地域に根ざしていないから、収益が上がらなるとさっと撤退する。であれば先祖代々ここで暮らしてきた我々は逆転の発想で人口増に持っていかなくてはならない。活性があれば必ず人は集まってきます。

福島県の23年度の予算は9千億がやっと。ですが、人の集まる東京は8倍の7兆です。お金がすべてではありませんが、高

い気概、文化を持った人にこそ会津に残って欲しいと思います。

上野 会津経済の全体を見渡した佐藤会長のお言葉、大学にかけられる期待は非常に大きいものですね。

甘泉 日新館の伝統というのは今も会津に息づいていると私は思います。ITベンチャーの方は他所から来た方も多く、この地に惚れ込んで起業された方も少なくない。会津にひきつける力があり、そこを学んで旅立つのもいいですし、また戻ってくるのもいい。会津から世界へグローバルに広がっていくのなら、会津を第二のふるさととして心の奥に刻み込んで活躍して欲しい。

UBICの役割はIT日新館を接点に学生と地域を結びつけていくことだと思います。

上野 では卒業生である我々の役割とは？

高橋 まず、地域のことを良く学ぶことです。私も最初の1年は会津で商売をされている方とできるだけ会って話を聞きました。それが今の仕事に繋がっている。地域の人と情報をより近づけることが地域活性化のための“情報技術”だと思います。

上野 答えは山の中腹に200年前から刻

グローバルに進むなら、会津を第二の故郷として心に刻めれば。——甘泉 **上野** ありがとうございます。

み込まれている。先輩が後輩に教えるということ。私の経験からも、地元の経済界の人に里親になってもらい、いろはを教わることは大切。印紙とは何ぞや？から(笑)

甘泉 私も〈よそ者〉なんです。“会津の三泣き”という言葉もありますが、けっこう外から来てものびのびとやらせてもらっている人はいると思いますね。

上野 会津若松では塩川ですら〈よそ者〉ですけど(笑)。地域の疎外性について、やはり会津大というのは特許権を持っているんです。それは期待感の表れなんですよ。

菅野 会津大に来ている市民の方々の期待はいつも強く感じています。色々とお話ししていければと思いますね。

上野 さきほどの菅野先生の言葉もハートを感じます。あるいは先生も里親ですよ。

人が育たないわけがない。この地ではヒョコでも生きていける温かさがあるんです。

最後になりますが、同窓生や学生に企業の皆さんから、期待なり、ご命令でも。

佐藤 来年度も農商工観学フェアがあります。在校生にもまた、ぜひ参加して欲しい。そして良い企画には具体的な土壌づくりをしていきたい。新しいビジネスを興し、後生に誇れる地域にしていきたい。そのためには会津大生が地域に残れる地盤をつくっていく義務が我々にはあると思います。あとは学生さんにもっと地域に出てきて欲しい。まだまだ顔は見えないよね。

上野 では真鍋さん。

真鍋 これは学校側に要望なんですけど、単位のつくボランティアでもいい、学生を外に出すことで、地元ともっと繋いで欲しい。たとえば地域のイベントの実行委員長をやる経験などものちのちまで誇りになると思います。

工場誘致は個人的にはもういらないと考えています。そのかわり会津で起業したい人や研究室を増やしていくべきでしょう。会津人であることを誇りに思ってもらえれば20~30年後の会津の発展につながると私は信じています。

今回は学生・OB、そして企業の方にお集まりいただいて、会津の地域における経済と未来、大学と地域経済について座談会をさせていただきました。



たかはし くにお
高橋 邦雄

会津若松市出身 第9期生
コンピュータ理工学部博士後期課程3年
CircRats代表



たにかわ ともこ
谷川 知子

会津若松市出身 第17期生
コンピュータ理工学部2年
大津山教授の研究室でマイクロバブルを使った水質浄化の研究中



さとう ひでゆき
佐藤 秀幸

会津若松市出身 第17期生
コンピュータ理工学部2年
CAIST宇宙情報科学クラスター(ARC-Space)所属



まなべ まさみ
真部 正美

福島県中小企業家同友会会津地区理事
株式会社マナックビジネス 代表取締役社長
あいづ農商工観学フェア実行委員
ビジネスプラン審査員



かんぜん みずお
甘泉 瑞応

東京都出身
会津大学産学イノベーションセンター准教授
博士(コンピュータ理工学)
中小企業診断士・ITコーディネータ
上智大学法学部卒業後、株式会社富士銀行
入行 会津大学大学院(博士前期課程、
博士後期課程)修了

大学の近況



“稼げる大学”ランキング理工系第1位に会津大学

9月27日発売の「PRESIDENT」(2010年10.18号)で理工系大学卒業生の平均年収ランキングが発表され、会津大学が第1位に選ばれました。

同号は「学歴と人生の損得」を特集し、様々な角度から大学の就職力を調査。会津大は理工系大学の卒業生を対象とした就職先の平均年収が809万円でトップとなり、「稼げる大学」として位置づけられています。

開学以来、会津大の平均就職内定率は約99%という高い水準を維持し、卒業生の就職先は日本を代表する大手有名企業も少なくありません。

「5フィールド9トラック」からなる会津大学のカリキュラムは、5つの専門領域とそれをさらに細分化した9つの履修モデルから、学生の興味や希望の進路に合う独自のカリキュラムを組み立てることが可能で、学部2、3年生には「キャリアデザイン」の授業もあり、業界研究やワークショップから学生の就職活動を支援していることも、日本有数の

企業でキャリアを積む卒業生の活躍につながっていると考えられます。

「PRESIDENT」はその名の通り、企業経営者などビジネス界のリーダーに向けた情報雑誌。どの分野にも欠かさないコンピュータの基礎教育と世界を見据えた英語教育により、グローバルな人材を育成し続ける会津大学の名が広がるのが期待されます。



(PRESIDENT FAMILYより)

「PRESIDENT」(2010年10.18号)より

大学名	平均年収(万円)
1 会津大学※	809
2 東京海洋大学※	805
3 東京工業大学※	771
4 東京理科大学	751
5 日本工業大学	750
6 北海道工業大学	744
7 高知工科大学※	742
8 電気通信大学※	735
9 東北工業大学	732
10 名古屋工業大学※	722

※は国公立大学

後輩のキャンパスライフを応援 —環境の充実に寄附—

本会から会津大学に教育環境整備の支援のため100万円を寄附しました。

今春完成した学生寮建設をはじめとする教育環境の充実に図るため、同窓生の支援を募っていたところ、未来の後輩が充実したキャンパスライフを過ごす一助にと、本会から寄附いたしました。平成22年11月18日(木)、会津大学を訪れた上野会長は、「寮はみんなが集まり語り合う場所、いわば大学文化の根底になる場所。会津大学の後輩が若い時期に良き友人をたくさん作るための協力をしていきたい」と話し、角山学長に寄附金の目録を手渡しました。

寄附金は学生寮の各階に設けられるオープンスペースの整備等に活用する予定で、同窓会の温かい支援に対し、角山学長から感謝状が贈られました。



会津大生のアイデアをビジネスに! —第1回あいつ農商工観学フェア—



会津に新しいビジネスで新風を吹き込もうと、会津大生205名がビジネスモデルを企画しました。そのうち事前選ばれた優秀企画5件のプレゼンテーションが平成22年7月25日(日)、会津アピオスペースで開かれた「第1回あいつ農商工観学フェア」で行われ、学部2年谷川知子さんの企画「あかべえも大好き!会津ながらの『みそば饅頭』」が最優秀賞(福島県会津地方振興局長賞)を受賞しました。

学生による「会津にこんなビジネスあったらいいな」企画コンペは、会津大学の産学イノベーションセンターと福島県中小企業家同友会会津地区の連携イベント。会津大学のベンチャー体験工房「会津IT日新館」(※1)の一環で開講している「ベンチャー基本コース」(担当教員:甘泉瑞応

准教授、程子学教授、渡辺孝信助教)の受講生が、IT技術の応用や会津の歴史や文化を活用したビジネスプランの企画に挑戦しました。

谷川さんの企画は地元会津の名産、蕎麦を皮に味噌を餡に使い、表面には全国的にも有名な会津の観光マスコット「あかべえ」の焼印を付けたご当地饅頭。会津の食文化と、親しみやすいキャラクタを組み合わせ、どの世代にも親しみやすい饅頭にすることがポイントとなりました。谷川さん

は受賞について「本当に嬉しい。ビジネスモデルの企画という貴重な体験ができたことに感謝し、機会があればビジネス化を実現したい」と話しています。

審査委員長を務めた岩瀬理事は「どれも着眼点良かった。観光、酒、味噌、こづゆなど、会津の良さを学生の視点から新たなアプローチで売り出す内容に、地元の皆さんにも新たな気づきがたくさんあったと思う」と総評しました。

受賞企画は下記の通りです。

第1回あいつ農商工観学フェア

最優秀賞 (福島県会津地方振興局長賞)

谷川知子(学部2年) 「あかべえも大好き!会津ながらの『みそば饅頭』」

優秀賞 (会津若松市長賞)

高木駿(学部1年) 「会津オクトーバーフェスト」

佐藤秀幸(学部2年) 「絵ハガキの旅 in Aizu」

佳作 (福島県中小企業家同友会会津地区会長賞)

奥山俊輝(学部2年) 「パソコン学習講座付き会津歴史の旅」

平井良和(学部1年) 「会津の武家料理から郷土料理となった『こづゆ』を全国へ」

※1「会津IT日新館」
IT教育を特徴とする会津大学が地域のベンチャー企業や自治体と連携し、それらのニーズに対応したテーマで「ベンチャー体験工房」群を構成。それぞれの工房では、

地域企業の経営者や技術者から指導を受けながら、ニーズを満たすソフトウェア開発など製品化にかかるプロセスを体験し、確かな技術と起業家精神を養うことを目的とする。

今年度のホットなトピックは? 平成22年度出来事一覧

- 04.09 平成22年度入学式
- 04.23 会津大学と世界を結ぶ拠点-国際戦略本部移転リニューアル!
- 04.30 学生寮誕生へ-平成23年4月、入居開始-
- 05.28 成績上位者に表彰状
- 07.09 アジアに挑戦!-ACM/ICPC国内予選大学別3位-
- 07.25 会津大生のアイデアをビジネスに!-第1回あいつ農商工観学フェア-
- 08.06 会津大学の「今」をつぶやく-Twitter特設ページ開設-
- 08.11 コンピュータを楽しく学ぶ夏休み-CSSC2010-
- 09.03 川口淳一郎はやぶさプロジェクトマネージャが10/15(金)本学で講演!!
- 09.21 平成22年度秋季学位記授与式
- 09.21 学生寮名称決定!
- 09.29 “稼げる大学”ランキング理工系第

- 1位に会津大学
- 10.01 キャリア形成プロジェクト始動-文部科学省選定-
- 10.04 平成22年度秋季大学院入学式
- 10.06 会津IT秋フォーラム2010デザインコンペ表彰式
- 10.14 会津の魅力を発信-会津大学学園祭「蒼翔祭」-
- 10.21 9時間でアプリケーションの開発に挑戦!-HTML5 Hackathon-
- 10.21 会津で拓くITの未来-会津IT秋フォーラム2010-
- 10.22 20代の投票率Upに貢献-キャンパス啓発活動に表彰-
- 10.22 「大連・福島産学協同IT人材育成モデル」が始動!!
- 11.01 インターネットサービスの最前線-サイバーエージェント藤田社長が講演-
- 11.11 高校生の熱い戦いに幕!-パソコン

- 甲子園2010-
- 11.19 後輩のキャンパスライフを応援-環境の充実に寄附-
- 12.20 来春、学部にも留学生!-ベトナムの派遣校から事前訪問-
- 12.20 会津大学の「新技術」をPR-ニューテクノロジーセミナー-
- 12.21 はやぶさ支援で大臣感謝状-世界初の快挙を支えた会津大学-
- 01.04 プロジェクト「起き上がりKOBOSHI」始動
- 02.10 大学生活の集大成-平成22年度卒業論文発表会-
- 02.10 洋服選びをサポート!-学生の開発アプリが会津産IT技術に認定-
- 02.21 学生ならではのスマホアプリ
- 02.23 研究・教員生活を振り返って-退任記念最終講義-
- 03.07 受験生に春-平成23年度合格発表-
- 03.23 希望を胸に-学生自主卒業式-

平成21年度進路状況 全学平均内定率94.1% 平成22年5月31日現在

学部

学部	進路希望	決定者数			
		女子	女子		
コンピュータ理工学科	民間企業	120	21	110	21
	県内	25	3	25	3
	県外	95	18	85	18
	内定率	91.7%			
	教員	5	2	5	2
	公務員・団体等	6	1	6	1
	起業	1	0	1	0
	家業	2	0	2	0
	小計	134	24	124	24
	就職率	92.5%			
進学	本学大学院	51	4	51	4
	他の大学院	7	3	7	3
	海外の大学院	1	1	1	1
	小計	59	8	59	8
その他	10	1	10	1	
未定・未回答	1	0	1	0	
合計	204	33	191	32	

博士前期課程

学部	進路希望	決定者数			
		女子	女子		
コンピュータ・情報システム専攻	民間企業	48	1	48	1
	県内	0	0	0	0
	県外	48	1	48	1
	内定率	100.0%			
	教員	1	0	1	0
	公務員・団体等	0	0	0	0
	起業	0	0	0	0
	家業	1	0	1	0
	小計	50	1	50	1
	就職率	100.0%			
進学	本学大学院	11	0	11	0
	他の大学院	0	0	0	0
	海外の大学院	1	0	1	0
	小計	12	0	12	0
その他	3	0	3	0	
未定・未回答	0	0	0	0	
合計	65	1	65	1	

県内就職率、学部は伸びるも院卒はゼロに

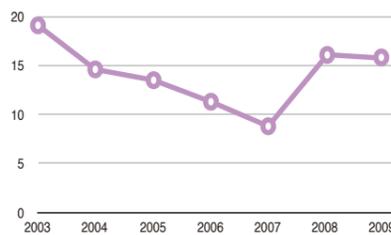
大学が集計しているデータとして2009年度の卒業生の就職先は、前年に比べ学部が1/4弱である22.7%と伸びたのに対し、大学院は0%という結果となった。現役学部生の話によると近年は県内就職志向が高まっていると聞く。これは入学者が福島県内、近隣県の割合が伸びていることも一因であると考えられる。

逆に大学院の県内就職率が低いことは、イコール高いレベルの技術と知見を備えた院修了者に対する強い需要の反映であり、

希望する業務や待遇を求めての結果として都市部への就職者が増加したと思われる。事実、ほとんどの院卒業生の就職先は名の知れた企業であり、就職活動においてもそれほど苦労なく内定が取れると聞く。地方に位置する大学としては嬉しくもあり、悩みどころでもある。地域の発展と好循環のためにも、高度な人材を活用し、受け皿となる地域企業のアピールと適切なマッチングが望まれる。

学部・大学院卒業 県内就職率の推移

県内就職者割合	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
学部(民間)	110	132	132	136	137	158	110
学部(県内)	21	5	18	15	11	26	25
学部(割合)	19.1%	18.9%	13.6%	11.0%	8.0%	16.4%	22.7%
院(民間)	47	60	60	5	45	43	48
院(県内)	10	3	8	1	5	6	0
院(割合)	21.3%	5.0%	13.3%	20.0%	11.1%	13.9%	0%
合計(民間)	157	192	192	141	182	201	158
合計(県内)	31	28	26	16	16	32	25
合計(割合)	19.7%	14.6%	13.5%	11.3%	8.8%	15.9%	15.8%

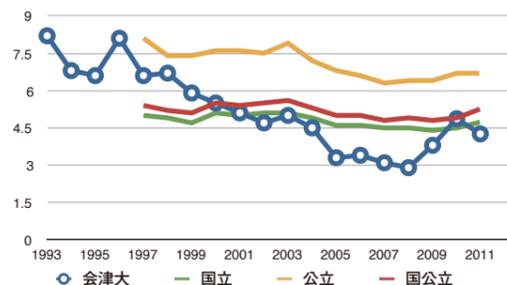


倍率回復は落ち着く、大震災の今後は課題か

2011年の会津大学入試志願倍率はクラブの通り、4.4倍という結果になった。2008年に2.9倍という過去最低を記録した後に、2009年3.8倍、2010年4.8倍とかつての勢いを取り戻す数値が出ていただけに再び落ち着いた形となった。かぐや、はやぶさでの成果に続き、別ページにも掲載した通り、現在会津大学はパフォーマンスの高い隠れた大学として雑誌やテレビ、各種メディアで取り上げられて世間の注目を集める状態にあり、自然と倍率にもよい影響があると予想される。そのように今後の展望は明るくもあるが、課題もある。3月11日に発生した東日本大震災による影響である。物理的被害については数カ所のクラック、中庭の陥没、研究棟の天井の一部崩落等あったものの、致命的なダメージはなく、さらに幸いにして学生全員の無事が早い段階で確認された。特に津波による被害がなかった福島県の内陸部の地方が今も苦しむのは東京電力福

島第一原子力発電所の放射能漏れによる問題である。問題は未だ収束の目処が立たず、会津大学・福島県立医科大学でも入学辞退者が出た。特に放射線レベルは十分に低いとは言えども、子供を心配する親の気持ちとしては当然とも取れる。どのように安全を伝えるのか、それでも入学したいという人に何を与えられるのか、福島、東北、ひいては日本全体が悩むこの問題に少なくとも数年は立ち向かうことになるだろう。

入試志願倍率における国公立大との比較と推移



年度	会津大	国立	公立	国公立
1993	8.2	—	—	—
1994	6.8	—	—	—
1995	6.6	—	—	—
1996	8.1	—	—	—
1997	6.6	5.0	8.1	5.4
1998	6.7	4.9	7.4	5.2
1999	5.9	4.7	7.4	5.1
2000	5.5	5.1	7.6	5.5
2001	5.1	5.0	7.6	5.4
2002	4.7	5.1	7.5	5.5
2003	5.0	5.1	7.9	5.6
2004	4.5	4.9	7.2	5.3
2005	3.3	4.6	6.8	5.0
2006	3.4	4.6	6.6	5.0
2007	3.1	4.5	6.3	4.8
2008	2.9	4.5	6.4	4.9
2009	3.8	4.4	6.4	4.8
2010	4.8	4.5	6.7	4.9
2011	4.4	4.6	6.7	5.0

同窓会事業報告

総会報告

10月9日(土)、平成22年度会津大学同窓会総会、並びに会津支部交流会が開催されました。総会は来賓挨拶に始まり、上野会長挨拶に続いて各種議案の承認、収支報告など恙無く執り行われました。



学園祭での広報活動



総会後の懇親会

平成21年度 事業報告

1. 会報誌の発行

会津大学や同窓生の近況を伝えることを目的として、会報誌を発行した。内容は、会津大学に関わる5名による座談会や、大学の近況、本会の事業報告などを掲載した。

2. 会津大学同窓会サイトの運営

同窓会組織、ならびに同窓会事業に対する理解を深めてもらい、様々な活動への参加を促進する為に、同窓生をターゲットとしたサイトの運営を行った。また、よりわかりやすいサイトを目指しデ

ンをリニューアルした。

3. 同窓生懇親会・交流会の開催

総会と合わせた懇親会の他に、遠く離れた同窓生も気軽に参加できる場の実現を目指し、各支部単位での交流会を開催した。(全支部で開催)

4. 総会及び懇親会

一年の経緯として、総会で、平成20年度事業報告及び決算報告を行うとともに平成21年度の事業計画及び予算が承認された。さらに、任期満了に伴う役員の変更が行われたほか、新たに評議員を設

置することとし、その承認及び関連する規約変更を行った。

5. 就職相談会の開催

学園祭において、同窓会役員による就職相談会を開催した。



就職相談会

平成22年度 事業計画

基本理念 「出会いから感動を」

第二の故郷とも言える学生時代過ぎた会津での思い出を元に、多くの会津大学卒業生が本同窓会事業による再会・出会いをきっかけとして、今に生きる、また、これから新たに生まれる、価値ある人のつながりや、感動を創造する。

活動指針

- 『一.つながり』 同窓生、在校生、教職員をつなぐ同窓会
- 『二.建学の精神』 建学の精神を次代へ伝える同窓会
- 『三.堅実・信頼』 事業の継続性・定着性を常に意識し、多くの卒業生の信頼を獲得する。

◎事業内容

- ◆会報誌の発行(平成16年度より継続) 会津大学や同窓生の近況を伝えることを目的として、会報誌を発行する。
- ◆会津大学同窓会サイトの運営(平成16年度より継続) 同窓会組織、ならびに同窓会事業に対する理解を深めてもらい、様々な活動への参加を促進する為に、同窓生をターゲットとしたサイトの運営を行う。また、今後は、同サイト上に同窓会理事会の活動状況(理事会議事録など)も公開していく。(http://www.u-aizuob.info/)
- ◆同窓生交流会の開催(平成18年度より継続) 同窓生の再会の場を交流会により提供する。各支部単位での交流会など遠く離れた同窓生も気軽に参加できる場の実現を

- 図り、より多くの同窓生の参加を目指す。
- ◆会津大学事業活動および同窓生の交流支援 母校会津大学および同窓生の様々な活動に対する支援・協力。
- ◆理事会・総会の定期開催 理事会を概ね2ヶ月に一度、場所を会津・東京を交互に開催する。理事会では、事業案・予算案の作成や会運営全般に関する議論を行う。総会は10月に開催される会津大学学園祭に併せて開催をし、主に、計画・予算に関しての審議を行う。また、総会同日に後援会と合同で懇親会を開催する。
- ◆支部会の充実 支部会の会員への連絡機能を拡充することから、各支部任意に連絡員を配置する。また、支部独自の運営を促し、同窓会の活性化を図る。

！平成21年度 同窓会収支決算報告書

【収入の部】 (単位：円)

科目	予算額	決算額	摘要
前期繰越金	6,478,537	6,478,537	平成20年度より繰越
会費	2,620,000	2,620,000	17期生262名×10,000円
雑収入	10,000	2,694	
合計	9,108,537	9,101,231	

【支出の部】 (単位：円)

科目	予算額	収入済額	摘要
事業費	600,000	600,000	会報・HP委託費
交流会費	600,000	185,000	各支部交流会
雑費	60,000	32,325	学位授与式後配布チラシ印刷、振込手数料
会議費	100,000	93,970	理事会会場使用料等
管理費	20,000	17,430	サーバー使用料・ドメイン維持費
旅費	700,000	642,035	出席役員旅費等
郵送料	170,000	141,990	総会通知等
慶弔費	10,000	0	
予備費	150,000	0	
合計	2,410,000	1,712,750	

【収支決算額】

収入総額	9,101,231 円
支出総額	1,712,750 円
繰越金	7,388,481 円

！平成22年度 同窓会収支予算

【収入の部】 (単位：円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
前期繰越金	7,388,481	6,478,537	909,944	平成21年度より繰越
会費	2,440,000	2,620,000	-180,000	18期生243名+編入生1名×10,000円
雑収入	10,000	10,000	0	
合計	9,838,481	9,108,537	729,944	

【支出の部】 (単位：円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
事業費	600,000	600,000	0	会報・HP委託費
交流会費	600,000	600,000	0	
雑費	60,000	60,000	0	事務用品、振込手数料
会議費	100,000	100,000	0	理事会会場使用料等
管理費	20,000	20,000	0	サーバー使用料・ドメイン維持費
旅費	700,000	700,000	0	理事会出席役員旅費等
郵送料	10,000	170,000	-160,000	
慶弔費	10,000	10,000	0	
寄付金	1,000,000	0	1,000,000	会津大学教育環境整備支援寄付金
予備費	300,000	150,000	150,000	
合計	3,400,000	2,410,000	990,000	

【収支予算額】

収入予算額	9,838,481 円
支出予算額	3,400,000 円
繰越予算額	6,438,481 円

同窓会をきっかけに大学ともう一度関わってみませんか？

・同窓会会員として連絡先の登録をお願いします

本会では、総会や交流会などの通知をメールにて行っております。大学卒業時に登録を行っていない方や住所などに変更があった方は登録をお願いします。

【登録方法】

- ① <http://www.u-aizuob.info/> にアクセスするか、または検索エンジンで『会津大学同窓会』で検索してください
- ② 会員情報の登録や更新の「登録 / 更新するには」を選択します
- ③ 入力フォームよりご登録下さい

・大学や同窓会への要望をお寄せ下さい

- ・巻頭特集の座談会や OB インタビューに参加したい
- ・OB/OG として、大学にリクルーティングに行きたい
- ・大学の研究内容に興味がある・共同開発がしたい

【上記に関するお問い合わせ先】

広報担当 前田 maeda@u-aizuob.info まで



【発行元・連絡先】

会津大学同窓会 (会津大学学生課) TEL: 0242 - 37 - 2600

3月11日午後2時46分に発生いたしました、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)で、会津若松市は震度5強を観測しました。表紙に使った写真は被害に遭った大学内です。

また、赤瓦にリニューアルした鶴ヶ城天守閣にも亀裂が入りました。(右写真)

